

西小は 大きな 家族

Family

～校長のたわいもない独り言・その2～

令和元年 7月8日 (月) No.21

発行人

今はレンジ。昔は七輪でトウモロコシ焼いた。うまかった～の川崎先生

★言葉のシャワー★

ある日の掃除の時間。3年生と一緒に校庭の草取りをしていたら、上の方から「校長せんせ～い」と声がする。見上げると6年教室の窓に女の子の顔が。すぐに続けて「ありがとうございます～す」。それを合図のように、教室にいた他の6年生や玄関付近にいた6年生たちが、みんな「ありがとうございます」「校長先生ありがとうございます」と口々にお礼を言う。なんてこったい。やまびこのような言葉のシャワー。これが心に沁みない訳がない。最初は橋本教祖様のお教えがあったかもしれないけど、彼ら彼女らは5年生の時からずっと、上級生下級生問わずお礼を言い続けている。いつでもどこでも言い続けている。こうやって西小は固い絆の家族になっていく。

◆毎日毎日ほんと～にいろいろあるんです◆

・手に大きな絆創膏をしてきたある5年生女の子。どうしたの?と聞くと「ちょっとぐしゅっとしたら、血がびしゃ～って出て・・・」。「び、びしゃ～って・・・(@_@;)」。ごめんなさい、いつも返ってくる不思議な表現を期待していました<(_)_>。

・今朝は猫じゃらしを持った平岡・田頭連合(レディース)にもてあそばれる。へっへっへっ、奪い取ってもてあそんでやったぜ。これは貴重な遊べるアイテム。

・「校長先生、今から何になりたい?」。はっ?川崎にそれを聞く?「専門学校行きたい」「ペットのトリマーになりたい」「看護師さんがいい」とか、なんか現実直視してる3年生女子。いいなあ、夢があって。そりゃあ川崎だって・・・・・・・・・・・・・・・・・・と考えるはみたものの、さすがに今からなりたいたいものって浮かばない。強いて挙げるとするならば「のんびり生活するおじいちゃん」かな(^_^)。そう言えば、娘が小さいときには「ウルトラマン・ダイナになりたい」と言ってたっけ。思い出しながら遠くを見つめる。今日も相変わらず富士山はきれいだ・・・・・・・・・・。

・校長先生!と言って指差す方向には富士山が。それも帽子をかぶったような雲が。昔の人は富士山の上にかかる雲の様子で天気を予報したという。今日のこの雲はなんだろう?皿をかぶせたような形なので、雨の雲かもしれない。梅雨だからね。

・櫛形野球場の駐車場で「校長先生～」と言う声に振り向くと、車の中から手を振る姿が。あ～っ、朝いつも来る2年生男の子とお母さんだ。ちょうど車の窓ガラスに鳥のオンがついていて、それを拭いているときだったから、なんとなく恥ずかし～。

・そしたら今度はトラOアル。目の前で6年生男の子とお母さんがお買いもの。手を振り合うPとT(^)v。トラOアルとオOノはどうやら遭遇ポイントだね。これまでいろんな親子&お母さんに何度も出会った。でも、さすがにお父さんには出会わない(^_^)。

・「最初はグー、ジャンケンポン」「あっちむいてホイ」って、おおよ、ジャンケンだけじゃないのかい?突然の出来事に対応仕切れない川崎でした。

・「校長先生～!昨日誕生日だった!」「そう、おめでとう。何歳になったの?」「8歳」誕生日をオープンにできる頃に戻りたい・・・せめて30代、いや40代でもいい・・・